

## 野菜花き 5月上旬巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 5月7日、8日

### 1 トマト

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。  
小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は未定植であった。

### 2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花に寄生するアザミウマ類がみられたほか（図1）、葉にアブラムシ類の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、未定植であった。

### 3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、着果始期であった。  
病害虫の発生はみられなかった。

### 4 キャベツ

長野市、南牧村の巡回ほ場は、生育初期（4～5葉期）であった。  
小諸市、軽井沢町の巡回ほ場は生育期（8～10葉期）であった。  
軽井沢町のほ場でコナガの成虫が散見されたほかは（図2）、病害虫の発生はみられなかった。

### 5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、定植直後であった。  
御代田町の巡回ほ場は、生育期（9～10葉期）であった。  
いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

### 6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、未定植であった。  
小諸市、小海の巡回ほ場は、結球始期であった。  
南牧村の巡回ほ場は、生育期（10～12葉期）であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

### 7 レタス

上田市、御代田町、南牧村の巡回ほ場は、生育期（8～10葉期）、小諸市の巡回ほ場は、収穫始期であった。  
いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

### 8 アスパラガス

小諸市、飯山市の巡回ほ場は、収穫中であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかったが、飯山市の周辺ほ場でジュウシホシクビナガハムシの成虫がみられた（図3）。小布施町の巡回ほ場は、立茎開始期であった。病害虫の発生はみられなかった。



図1 きゅうりの花に寄生するアザミウマ類（長野市）



図2 キャベツ葉上のコナガ成虫（軽井沢町）



図3 アスパラガスのジュウシホシクビナガハムシ成虫（飯山市）

9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は、8.0~8.5葉であった。  
黒斑病の発生がみられたほか(図4)、アザミウマ類、ハモグリバエ類の加害痕がみられた。



図4 たまねぎの黒斑病 (長野市)



図5 ばれいしょのアブラムシ類とオオニジュウヤホシテントウ (小諸市)

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、生育期(4~5複葉期)であった。アブラムシ類のほか、オオニジュウヤホシテントウの寄生がわずかにみられた(図5)。  
病害の発生はみられなかった。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、定植直後であった。  
ネキリムシ類による加害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 5月7日、8日、11日、12日

1 トマト

南箕輪村久保の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、収穫中であった。果実に灰色かび病(少発生)の発生がみられたが、前回より低密度に抑えられていた。

松本市島立の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、収穫中であった。病虫害の発生はみられなかった。

2 きゅうり

松本市島立の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、収穫中であった。前回に続き葉にうどんこ病(少発生)の発生がみられたほか、花にアザミウマ類(少発生)、葉にアブラムシ類(少発生)の寄生がみられた。

高森町山吹の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、生育初期であった。病虫害の発生はみられなかった。

3 すいか

飯島町および松本市の巡回ほ場は、ともに生育期(トンネル被覆)であった。いずれのほ場も病虫害の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市洗馬の巡回ほ場は生育期(9~10葉期)、朝日村古見の巡回ほ場は結球始期であった。いずれのほ場も病虫害の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場は、定植直後であった。病虫害の発生はみられなかった。

6 はくさい

朝日村の巡回ほ場は結球期、木祖村の巡回ほ場は定植直後であった。いずれのほ場も病虫害の発生はみられなかった。

7 レタス

塩尻市洗馬の巡回ほ場は、生育期であった。外葉にすそ枯病(中発生)の発生がみられた(図6)。

朝日村古見の巡回ほ場は、結球始期であった。病虫害の発生はみられなかった。

8 セルリー

松本市の巡回ほ場(施設栽培)は生育期、原村の巡回ほ場(露地栽培)は生育期(トンネル被覆)であった。いずれのほ場も病虫害の発生はみられなかった。



図6 レタスすそ枯病(塩尻市)

9 アスパラガス

豊丘村神稲および飯島町飯島の巡回ほ場（雨除け栽培）は立茎収穫期、松川村鼠穴の巡回ほ場（露地栽培）は収穫中であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

10 たまねぎ

安曇野市豊科の巡回ほ場は、本葉7.0～8.0葉であった。葉に白色疫病（中発生）の発生がみられた（図7）。

11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉3.0～4.0葉であった。葉にアザミウマ類、ハモグリバエ類の寄生および吸汁痕（いずれも少発生）がみられた。

山形村の巡回ほ場は、未定植であった。

12 きく

富士見町の巡回ほ場は、未定植であった。



図7 たまねぎの白色疫病（安曇野市）